

第5次総合計画についての討論

目標7 教育のまち富士
見・子育てのまち富士見

総合計画とは、町が長期的・総合的な視野に立ち、まちづくりを進めていくための指針。地方自治法では平成23年に策定義務がなくなりましたが、長期構想・長期計画は必要であるとの考えから第5次総合計画を策定することになりました。

第4次総合計画が理念的なものだったのに対し、より実践的なものにするため、改革事業と継続事業とに分けた目標となっています。

第4次総合計画が理念的なものだったのに対し、より実践的なものにするため、改革事業と継続事業とに分けた目標となっています。

第4次総合計画が理念的なものだったのに対し、より実践的なものにするため、改革事業と継続事業とに分けた目標となっています。

第4次総合計画が理念的なものだったのに対し、より実践的なものにするため、改革事業と継続事業とに分けた目標となっています。

第4次総合計画が理念的なものだったのに対し、より実践的なものにするため、改革事業と継続事業とに分けた目標となっています。

〈改革事業〉

- 目標1 人口の維持
- 目標2 健全財政の維持
- 目標3 健康・福祉のまちづくり
- 目標4 安全安心のまちづくり
- 目標5 農業の復活
- 目標6 観光の強化

〈継続事業〉

目標8 安定した行政運営

●反対・名取武一

地方自治法において町は住民の福祉の増進を図ることを基本とするが、人口の維持、財政の健全化は、福祉の充実を図る中で追求すべき課題である。目標の並べ方に反対。

○賛成・宮下伸悟

第4次総合計画に比べて町長の意向が先鋭化された分、目標8が総花的に膨れてしまっている。そのため、問題意識として「町づくりの基本となる協働」は盛り込まれているものの、実施計画において現場の目標意識が希薄にならないよう願う。

●反対・佐久祐司

人口問題は数だけではなく、その構成など多様な視点で取り組まなければならない。「人口の維持」を最重要課題に掲げることはミスリードに陥る可能性がある。また、目標8は総花的で理念がない。町長のリーダーシッププロジェクトに総合計画を合わせたものになっており協働の精神が感じられない。平成27年度は第4次総合計画を踏襲し、もう一年かけ町民参加で総合計画を策定し直すべき。

な視点で取り組まなければならない。「人口の維持」を最重要課題に掲げることはミスリードに陥る可能性がある。また、目標8は総花的で理念がない。町長のリーダーシッププロジェクトに総合計画を合わせたものになっており協働の精神が感じられない。平成27年度は第4次総合計画を踏襲し、もう一年かけ町民参加で総合計画を策定し直すべき。

〈賛成多数で可決〉

議員提案で意見書を審議

地方議員年金制度の廃止後給付措置の見直しと公費負担抑制を求める意見書

①制度廃止時点で12年以上の在職期間を有する受給資格者については、在職年数分に合わせた上限措置あるいは給付限度を定めて支給するなどの見直しを図ること。

②遺族年金については廃止の選択肢を含めた検討を行うこと。

③地方議会共済会年金の受給資格を2つ以上有するものについては、重複受給を廃止すること。

④地方議員共済への公費負担率の抑制を図ること。

〈提出者・宮下伸悟〉

〈賛成少数で否決〉

〔請願・陳情〕

■農協改革など、「農業改革」に関する陳情

〈全会一致で趣旨採択〉

■TPP交渉に関する陳情

〈全会一致で採択〉

■米価対策の意見書を求める陳情

〈全会一致で採択〉

■地域振興・地域林業の確率に向けた「山村振興法」の延長と施策拡充に係わる意見書の提出に関する陳情

〈全会一致で採択〉

【編集後記】

3月議会が終わり、私たちの任期中の議会はすべて終了しました。改選直前の議会だよりは、選挙も近いというところで発行しないことが通例でしたが、大切な情報を町民の皆様にお届けすることが大事な役割との思いで、議会終了後2週間という最速での発行をいたしました。そのため一般質問等、いつもよりも情報が少ないことはご了承ください。

これまで早い発行、読みやすく、わかりやすい紙面作りを目指してきました。このことが議会と町民の皆様との距離が近くなったのなら嬉しく思います。4年間、ご愛読していただき、ありがとうございました。

(編集委員会一同)

【富士見町議会へご意見をお寄せください】
「No.138」平成27年4月1日発行
発行 富士見町議会／編集 議会広報編集委員会
委員長 佐久祐司
副委員長 宮下伸悟
委員 小池 勇 平出隼仁
〒399-0292
長野県諏訪郡富士見町落合10777
TEL／0266-62-9403
FAX／0266-62-9320
Email／gikai@town.fujimi.lg.jp